

# 向日市一般廃棄物処理基本計画 進捗状況

令和6年7月作成

## 1. 計画の趣旨

市が長期的・総合的視点に立って、循環型社会形成のための計画的なごみ及び生活排水の処理の推進を図るための基本方針として、発生から収集運搬、中間処理及び最終処分に至るまでの適正な処理を進めるために必要な基本事項を定めることを目的として策定。

## ○計画の期間

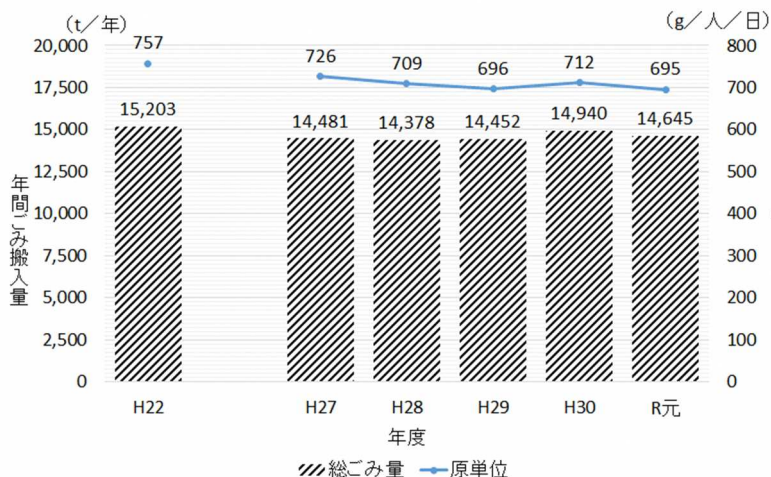
令和4年度を初年度とし、令和18年度を目標年度とする15年を計画期間

## 2. 計画策定時の現状と趣旨

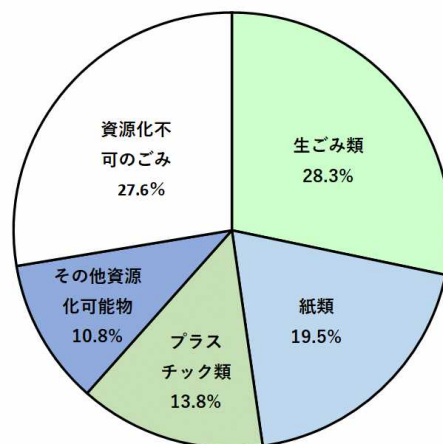
### ○現状

ごみ発生量は平成28年度まで減少傾向にありましたが、近年、ごみの減量が進んでいない状況にあります。なお、平成30年度については暴風災害等による災害ごみが発生した影響が見られます。

家庭系ごみを調査した結果、右図のとおり、新聞や段ボールなどの紙類やプラスチック類など資源化できるものが多く含まれていました。



(図) ごみ総量の推移



(図) 家庭系可燃ごみの排出割合  
(令和元年度ごみ組成分析結果より)

## ○課題

### (1) 排出抑制

- ① ごみ量の削減
- ② 再生利用率の向上
- ③ 食品ロスの削減
- ④ 向日市廃棄物減量等推進審議会からの提言への対応

### (2) 収集運搬

- ① 資源ごみの収集体制の検討
- ② 集団回収、拠点回収の拡大の検討

### 3. 基本方針

本計画では、次の基本方針に基づき、一般廃棄物の3R 及び適正な処理を推進し、地球温暖化防止や海洋プラスチックごみの削減に取り組みます

基本方針
①市民、事業者、市の連携によるリデュース・リユースの推進 ②ごみの中から資源を回収し環境にやさしいまちづくり ③将来の環境を考えた環境負荷の少ない適正な処理 ④ルールとマナーがつくる美しく快適なまちづくり

### 4. 計画内における数値目標

#### ○減量化目標

区分	単位	実績 (R元年度)	計画5年後 (R8年度)	計画10年後 (R13年度)	目標年次 (R18年度)	R元年度比
収集ごみ量 (収集ごみ量原単位)	g/人/日	519	451	438	426	約18%減
総排出ごみ量 (総排出ごみ量原単位)	t/年 (g/人/日)	14,645 (695)	13,464 (669)	13,077 (677)	12,562 (685)	約14%減

#### ○再生利用率目標

区分	単位	実績 (R元年度)	計画5年後 (R8年度)	計画10年後 (R13年度)	目標年次 (R18年度)	R元年度比
再生利用率 (再生利用量)	% (t/年)	4.4 (649)	10.3 (1,390)	13.8 (1,805)	16.8 (2,104)	12.4 ポイント増

#### ○最終処分量削減目標

区分	単位	実績 (R元年度)	計画5年後 (R8年度)	計画10年後 (R13年度)	目標年次 (R18年度)
最終処分量 (令和元年度比)	% (t/年)	- (2,392)	13.8減 (2,063)	19.2減 (1,932)	24.8減 (1,798)

## 5. 各数値目標に対する推移（進捗状況）

### 【定義】

収集ごみ量・・・事業系を除くもやすごみ、粗大ごみ、資源ごみ、有害ごみ、側溝清掃汚泥の量

総排出ごみ量・・・事業系を含むもやすごみ、粗大ごみ、資源ごみ、有害ごみ、側溝清掃汚泥、資源ごみの集団（ごみ総量） 回収、拠点回収の量

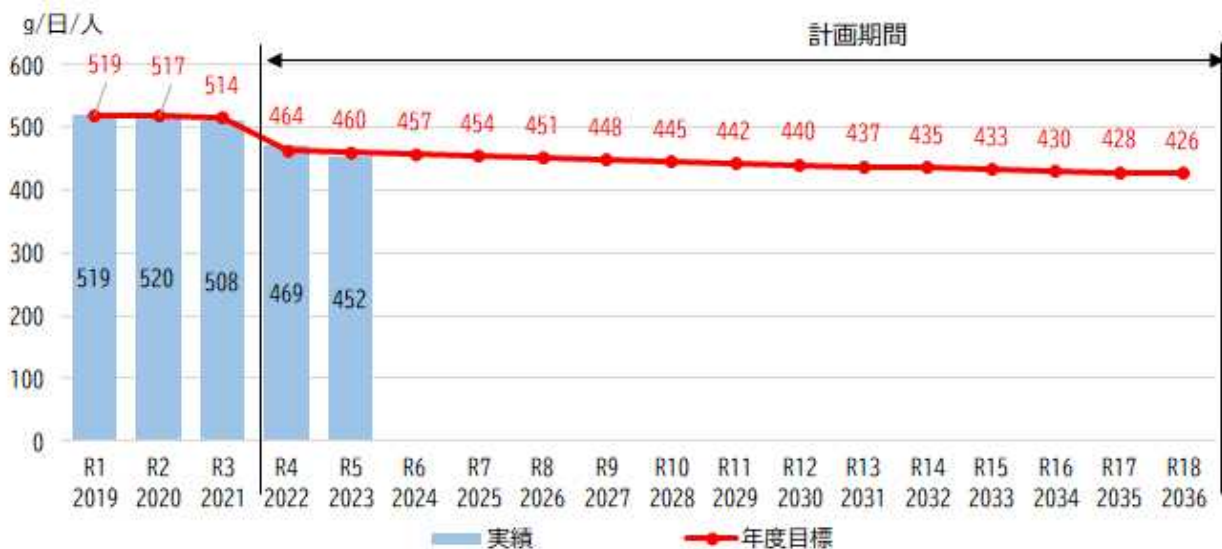
再生利用量・・・集団回収、拠点回収、再生原材料（カン、びん、破碎鉄、破碎アルミ、ペットボトル、プラ容器）の量

再生利用率・・・再生利用量／総排出ごみ量

最終処分量・・・勝竜寺埋立、ごみ焼却残渣（大阪湾フェニックス）の量

### (1) 減量化目標

○ 収集ごみ量原単位 (g/人/日)

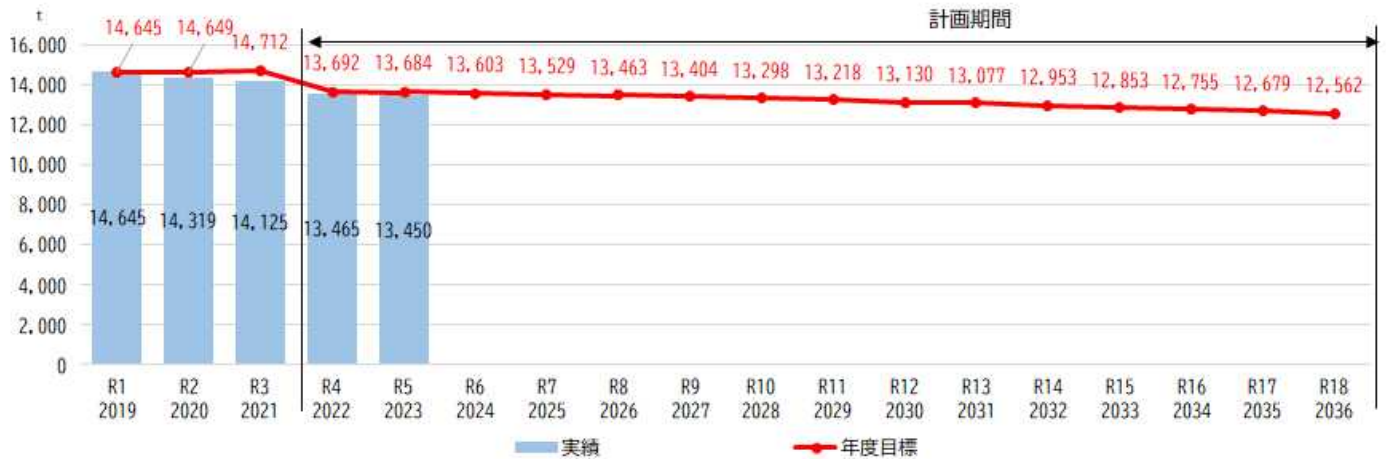


収集ごみ量とは、家庭から排出される、可燃・粗大・資源・有害ごみ及び側溝清掃汚泥の合計値です。

「向日市一般廃棄物処理基本計画」において、1人1日あたりのごみ排出量を原単位としており、ごみ排出量を各年度人口及び365日又は366日で除したものを用いています。

計画策定時の基準値（令和元年度）から令和3年度までは横ばいであったものの、令和4年2月から導入開始した「指定ごみ袋制度」により、ごみの減量、分別による適正排出に伴い、減少傾向となりました。

○ 総排出ごみ量 (t/年)

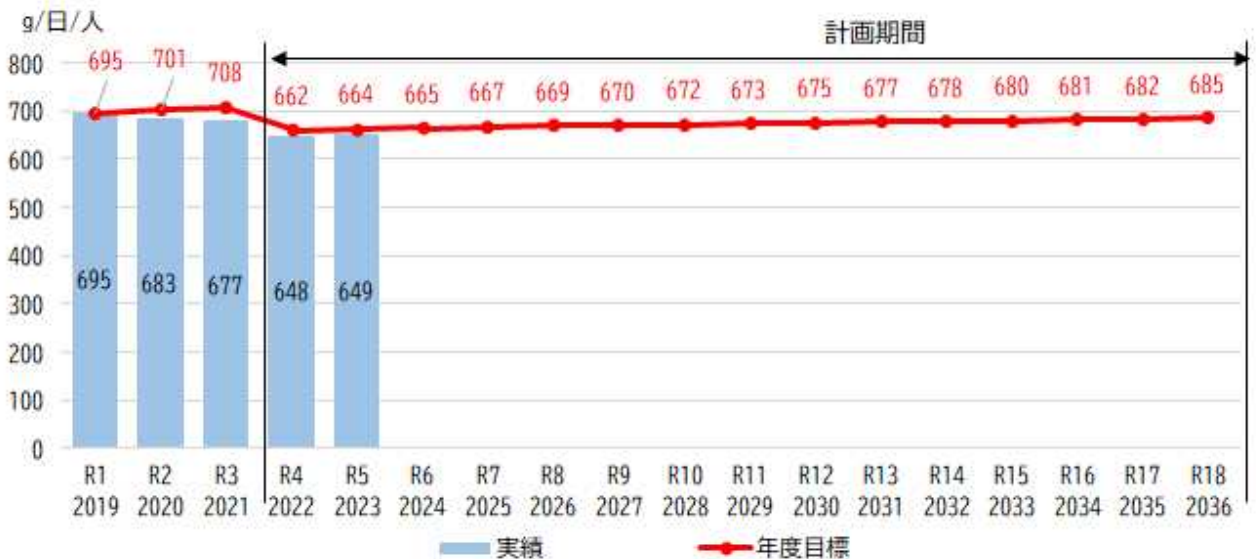


総排出ごみ量とは、収集ごみ量と、事業所等から排出される可燃・粗大・資源ごみ、また古紙などの集団回収や拠点回収を合算した数値です。

計画策定時の基準値(令和元年度)から令和3年度までは横ばいであったものの、令和4年2月から導入開始した「指定ごみ袋制度」により、ごみの減量、分別による適正排出に伴い、減少傾向となりました。

しかし、令和4年度と令和5年度を比べると、やや減少しているものの、ほぼ横ばいであることから、分別による適正排出が進んだことで、集団回収や、拠点回収の量が増加していたことが一因であると考えます。

○ 総排出ごみ量原単位 (g/人/日)



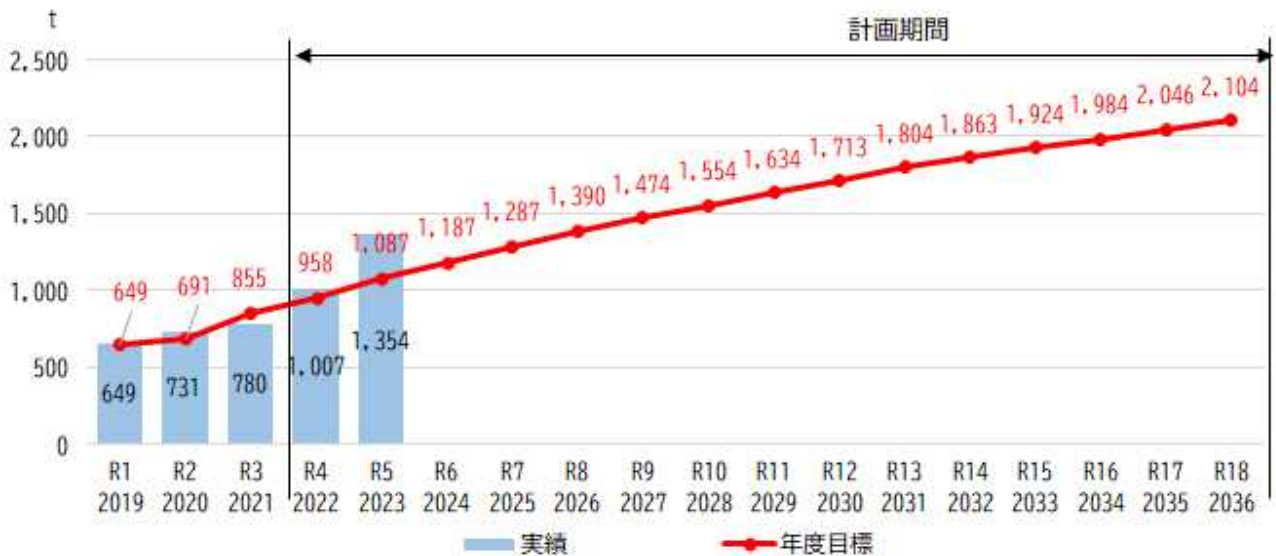
計画策定時の基準値(令和元年度)から令和3年度までは横ばいであったものの、令和4年2月から、開始した「指定ごみ袋制度」により、ごみの減量、分別による適正排出に伴い、減少傾向となりました。

しかしながら、今後は、集団回収、拠点回収量が増加する一方、人口が減少する見込みであることから、原単位もそれに伴って上昇していくものと見込まれます。

※計画では将来の人口減少見込に伴い、もやすごみの収集量は減少しますが、事業所から排出される事業系ごみについては、収集見込がほぼ横ばいで推移しているため、1人当たりの総排出ごみ量原単位が増加する見込です。

## (2) 再生利用率目標

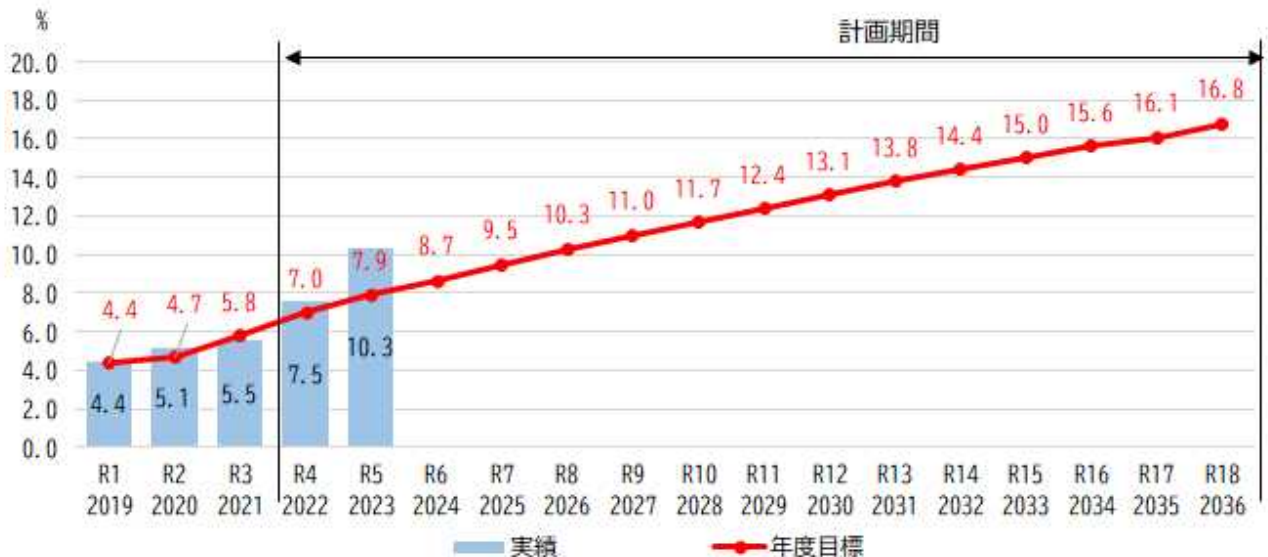
### ○ 再生利用量 (t/年)



再生利用量とは、集団回収や拠点回収などで、集められた資源ごみで、直接再生利用される量とリサイクル施設で中間処理をされた後に発生する再生利用される量を合算した収集ごみ量と、事業所等から排出される可燃・粗大・資源ごみ、また古紙などの集団回収や拠点回収を合算した数値です。

本市では、令和2年度から、拠点回収が整備されたこと、令和4年度から古紙回収集団回収助成金事業と古紙等回収拠点を整備したことにより再生使用量が伸びています。

### ○ 再生利用率 (%)

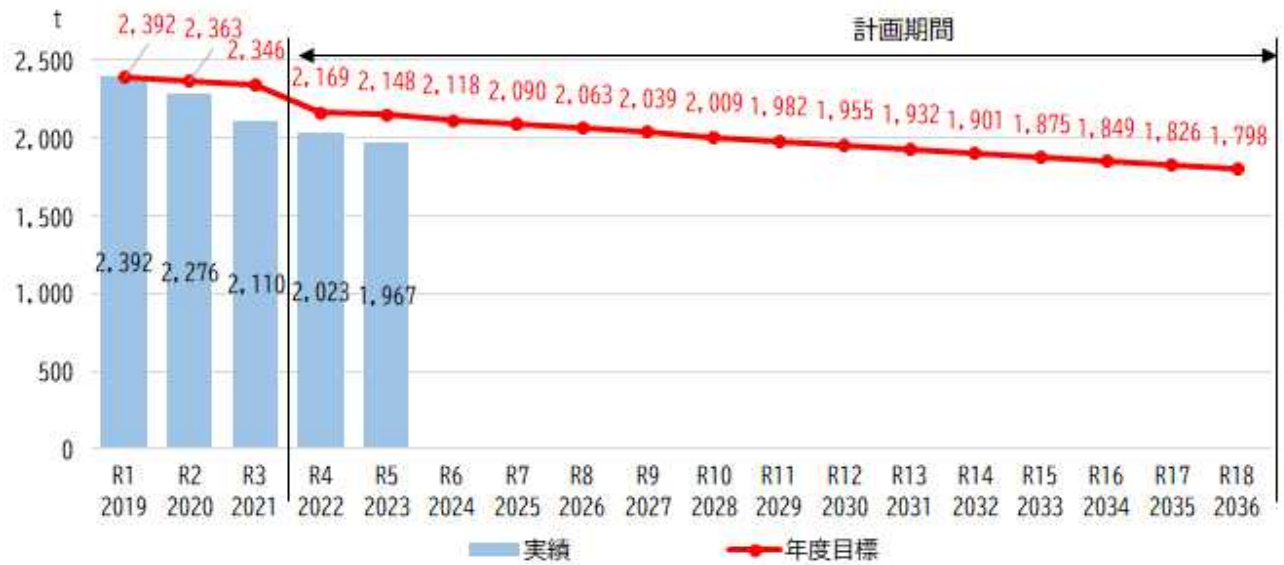


再生利用率は、再生利用量を総排出ごみ量で除した数値です。

当審議会の答申を受けて、取り組んだ施策により利用量が増え、それに伴って利用率も目標値に対して大幅に増えています。

### (3) 最終処分量削減目標

○ 最終処分量 (t/年)



最終処分量とは、廃棄物のうち、資源化または再利用されるものを除き、最終的に埋立処分又は海洋投入処分するため、この量を指します。

総排出ごみ量が減少していること、再生利用量が増加していることに伴って、最終処分量が減少傾向にあります。これも当初の計画から大幅に減少しており、令和5年度実績は令和12年度目標値に近い状況です。

### (2) 令和5年度(単年度)における計画値と実績値の比較

- ・全ての項目で、実績値が計画値を上回る結果となりました。
- ・指定ごみ袋制度の他、古紙等集団回収助成金事業、古紙等回収拠点の整備、ごみ分別アプリの配信により、分別意識が高まり、再生利用量、再生利用率が高まりました。
- ・ごみ総量が減少、再生利用率が高まったことにより、最終処分量が計画値より上回る減少幅となりました。

R5年度	収集ごみ量 (収集ごみ量原単位)		総排出ごみ量 (総排出ごみ量原単位)		再生利用率 (再生利用量)		最終処分量 (令和元年度比)	
	単位	g/人/日	t/年	g/人/日	%	t/年	%	t/年
計画値		461	13,685	664	7.9	1,088	-10.2	2,148
実績値		452	13,450	650	10.1	1,354	-17.8	1,967
達成率		102.0%		101.7%		124.4%		109.2%

## 6. 数値目標達成に向け、新たに取り組んだ施策

### (1) ごみの減量・分別の徹底

施策	古紙等集団回収助成金事業(令和4年7月開始)										
ねらい	ごみの減量及び資源の有効利用並びにごみのリサイクル意識の向上を目的に、古紙等の回収を実施する団体等に助成金を交付する事業です。										
内容	助成金額 回収量(kg)×5円 対象団体 自治会 子ども会 PTA 老人クラブ 共同住宅の管理組合 社会福祉法人 地域住民で構成の営利を目的としない団体 対象品目 紙類(新聞紙、雑誌、ダンボール、紙パック、雑がみ) 布類(古繊維)										
取組	令和5年5月～7月に各自治連合会や PTA の総会に行き、制度説明をするとともに、利用を促しました。 令和5年6月号広報むこうに利用者インタビューを掲載し、制度利用のしやすさを PR										
成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和5年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活動団体数</td> <td>25団体</td> <td>19団体</td> </tr> <tr> <td>回収量</td> <td>196.438t</td> <td>93.538t</td> </tr> </tbody> </table>			令和5年度	令和4年度	活動団体数	25団体	19団体	回収量	196.438t	93.538t
	令和5年度	令和4年度									
活動団体数	25団体	19団体									
回収量	196.438t	93.538t									
課題	目標登録団体数を40団体と設定。 令和6年7月10日現在27団体のため、引き続き、広報等で利用を促します。										

施策	古紙等回収拠点(令和4年11月開始)										
ねらい	ごみの減量及び資源の有効利用並びにごみのリサイクル意識の向上を目的に、古紙等の回収する拠点を設置しました。										
内容	場所 上植野浄水場東側(上植野町久我田17-1) 回収資源 新聞紙、チラシ、雑誌、雑がみ、段ボール、古着 出し方 資源項目毎のコンテナへ自身で投入 利用時間 午前8時30分から午後6時30分まで ※12月30日から1月3日までの間と荒天時は休み 運営 日本紙業有限会社(京都市伏見区羽束師菱川町730-1)										
取組	市民からの古紙の出し方の問い合わせ時に、拠点を案内、積極的に利用を促しました。										
成果	市民に浸透してきたこと、令和4年度は5か月間の数量であったことから、単純比較は出来ませんが、事業者が見込んでいた月平均25tは越える数量を回収しています。										
成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和5年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回収量</td> <td>378.03t</td> <td>91.30t</td> </tr> <tr> <td>平均</td> <td>31.50t</td> <td>18.26t</td> </tr> </tbody> </table>			令和5年度	令和4年度	回収量	378.03t	91.30t	平均	31.50t	18.26t
	令和5年度	令和4年度									
回収量	378.03t	91.30t									
平均	31.50t	18.26t									
課題	誰でも自由に出すことが出来ることから、向日市外の事業者・住民が排出している可能性があり、収集量そのまま削減量に直結するとは判断できません。										



(2) 分別の徹底

施策	ごみ分別アプリの配信(令和5年1月)							
ねらい	ごみ分別アプリ(ごみスケ)を配信することで、素早くごみの分別の仕方が分かることを目的とします。また、地域を設定することで資源物の収集日や燃やすごみの出し忘れ防止通知を行うことができることから、正しくごみを排出いただくように促します。							
内容	スマートフォン向けごみ分別アプリ(ごみスケ)を配信します。 ※スマホをお使いにならない方は市ホームページのごみ分別検索辞典を閲覧いただけます。							
取組	アプリ内のごみ分別辞典で検索できる項目数を200件から900件に増やし、アプリのプッシュ通知機能を使ってごみの適正排出を促しました。							
成果	<p>ゴミの出し方・分け方カレンダー以外にも同様の案内が可能なツールを提供することで、より市民の皆さまに啓発ができます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和5年度末</th> <th>令和4年度末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ダウンロード数</td> <td>4,067</td> <td>2,119</td> </tr> </tbody> </table>			令和5年度末	令和4年度末	ダウンロード数	4,067	2,119
	令和5年度末	令和4年度末						
ダウンロード数	4,067	2,119						
課題	アプリの充実 (食品ロス削減の取組や粗大ごみのリサイクル業者引き取りの案内、検索品目の追加など)							

(3) 粗大ごみ申込方法の拡大

施策	粗大ごみ受付システム導入(令和5年1月)													
ねらい	粗大ごみの収集受付について、24時間365日インターネット上で申し込めるシステムを導入することで、市民の皆様の利便性の向上を図るとともに、分別意識を高めていただくことで、ごみの適正排出を促します。													
内容	従来は衛生環境課へ電話か窓口で粗大ごみの収集申込をする必要があり、受付時間が開庁時間内でした。このインターネット申込により、24時間365日申し込むことが可能になります。(※ごみ分別アプリとリンクします。)													
取組	市民からの電話・窓口申込時に、インターネット利用を案内し利用を促した。													
成果	<p>インターネットによる、受付可能件数を4割に設定(電話・窓口受付は6割) 令和5年度は目標値に近い約4割をネットで受け付けています。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和5年度末</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受付数</td> <td>5,276</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>うち ネット受付</td> <td>1,970</td> <td>37%</td> </tr> <tr> <td>うち ネット以外</td> <td>3,306</td> <td>63%</td> </tr> </tbody> </table>			令和5年度末	割合	受付数	5,276	100%	うち ネット受付	1,970	37%	うち ネット以外	3,306	63%
	令和5年度末	割合												
受付数	5,276	100%												
うち ネット受付	1,970	37%												
うち ネット以外	3,306	63%												
課題	引き続き、利用率を5割にまで引き上げるため、広報に努めます。													

## 7. 計画に掲げた3R促進に係る施策の取組状況

令和5年度までに一般廃棄物処理基本計画(第6章)に掲げた「目標を達成するための具体的な施策」から、市の実施が完了している方策について記載します。

「継続」…引き続き実施・検討をするもの

「短期」…5年以内で実施・検討するもの

市の役割	達成に向けた方策	実施時期	取組状況
3R促進のための 共通施策等	○令和4年2月から導入した指定ごみ袋について、制度の定着のため啓発を実施します。	継続	説明会、チラシ全戸配布、街頭PR
	○広報やリーフレット、ごみの出し方・分け方カレンダーにより、ごみの出し方、分別方法、収集日などについて周知徹底	継続	令和4年度ごみ出しルールブック改訂 毎年度ごみ出しカレンダー全戸配布
	○分別方法、出し方、収集日などがごみの品目で検索できる新たなインターネットサービスを導入します。	短期	令和4年1月から導入開始
	○分別指導員による指導を徹底します。	継続	夜間・前日に指導員配置し、指導 分別指導員を当日配置し、指導
	○インターネットによる粗大ごみ回収受付システムを導入します。	短期	令和4年1月から導入開始
リサイクル (古紙)	○古紙回収を実施している業者や回収が可能な品目について情報提供をします。	短期	市HPに掲載
	○古紙の集団回収に対する助成金制度を実施します。	短期	令和4年7月に制度開始
	○古紙の集団回収助成金制度の周知・啓発を行います。	短期	広報誌に利用者インタビュー掲載 各自治連合会の総会でPR
リサイクル (プラスチック)	○ペットボトルやプラスチックトレイなどを回収しているスーパーなどの事業者の情報提供をします。	継続	回収事業者の情報を市HPに掲載する旨協力いただき、回収強化。
	○事業者との連携のもと、ペットボトルからペットボトルへのリサイクルを推進します。	短期	事業所と協定を締結し、令和4年4月からボトル to ボトル事業を展開
リサイクル (その他資源化)	○生ごみ堆肥化容器(コンポスト)の購入補助等による生ごみ堆肥化の啓発を実施します。	継続	生ごみ堆肥化容器(コンポスト)の購入補助を実施している
	○小型家電に使用されているレアメタルなどの回収のため民間ルートによる再資源化を推進します。	継続	使用済携帯電話の回収 インクカートリッジの回収

【参考】令和5年度と令和4年度 ごみ量比較

区 分		単位	R4年度	R5年度	R5-R4		
人 口		人	56,889	56,561	-328.0	-0.58%	
収 集	可燃ごみ	収集量	t/年	8,581.18	8,258.67	-322.5	-3.91%
		原単位	g/人/日	413.26	398.94	-14.3	-3.59%
	粗大ごみ	収集量	t/年	140.93	124.01	-16.9	-13.64%
		原単位	g/人/日	6.79	5.99	-0.8	-13.30%
	資源ごみ	収集量	t/年	907.85	879.67	-28.2	-3.20%
		原単位	g/人/日	43.72	42.49	-1.2	-2.89%
	有害ごみ	収集量	t/年	12.86	15.08	2.2	14.75%
		原単位	g/人/日	0.62	0.73	0.1	15.01%
	側溝清掃 汚泥	収集量	t/年	87.35	68.35	-19.0	-27.80%
		原単位	g/人/日	4.21	3.30	-0.9	-27.41%
計(①)	収集量	t/年	9,730.17	9,345.78	-384	-4.11%	
	原単位	g/人/日	468.60	451.46	-17	-3.80%	
直 接 搬 入	可燃ごみ	t/年	3,195.51	3,145.66	-49.9	-1.58%	
	粗大ごみ	t/年	206.33	238.29	32.0	13.41%	
	資源ごみ	t/年	5.15	5.27	0.1	2.28%	
	計(②)	t/年	3,406.99	3,389.22	-17.8	-0.52%	
小計(①+②)		t/年	13,137.16	12,735.00	-402.2	-3.16%	
集団回収(③)		t/年	93.54	196.44	102.9	52.38%	
拠点回収(④)		t/年	234.51	518.90	284.4	54.81%	
小 計(③+④)		t/年	328.05	715.33	387.3	54.14%	
総 計 (①+②+③+④)	ごみ総量	t/年	13,465.21	13,450.33	-15	-0.11%	
	原単位	g/人/日	649.00	650.00	1	0.15%	